



熊谷市 記者クラブ取材情報

平成30年8月31日発表
担当課:ラグビーワールド
カップ2019推進室

事業の名称等

ラグビーワールドカップ2019™開催1年前イベント

1. 日時 9月23日(日・祝) 10:00~17:00
2. 場所 熊谷ラグビー場南側周辺(熊谷市上川上300、熊谷スポーツ文化公園内)

3. 事業概要

ラグビーワールドカップ2019™開催1年前イベントについて
ラグビーワールドカップ2019™の開催1年前の節目にイベントを開催します。開催都市ラグビー対抗戦や熊谷ラグビー場の見学会もあり、ラグビーを満喫できるイベントです。

<内容>

- ・開催1年前記念式典
- ・開催都市ラグビー対抗戦
- ・熊谷ラグビー場見学
- ・ラグビーワールドカップ2019™日本大会PRブース
- ・ラグビー体験コーナー

熊谷スポーツ文化公園内の同時開催イベント

- ・熊谷市ラグビー祭り(10:00~15:00)
- ・熊谷圏オーガニックフェス2018(10:00~17:00)
- ・ゆる玉フィフティーン任命式(13:20~)

4. 特徴やPRポイント

- ・新しくなったラグビー場の見学会を開催
- ・熊谷市ラグビー祭り、熊谷圏オーガニックフェス2018を併催し家族で1日楽しめるイベントとなっている。

5. その他

資料の有無(有) ・ 無)

担当者 日野

連絡先 048-524-1111(内線344)

ラグビーワールドカップ2019™開催1年前イベント

日本で初めて開催されるラグビー世界王者決定戦、ラグビーワールドカップ2019™の開幕まであと1年。この記念イベントを9月23日(日)に熊谷ラグビー場周辺で開催します。

当日は、開催都市のひとつである「岩手・釜石」が参加する開催都市ラグビー対抗戦やリニューアルされた熊谷ラグビー場の見学会もあります。同時開催イベントと合わせてラグビー三昧の一日をご家族連れでお楽しみいただけます。この機会にぜひご来場ください。

開催1年前イベントの概要

1 日時・場所

平成30年9月23日(日) 10:00～17:00

熊谷ラグビー場南側周辺(熊谷市上川上300、熊谷スポーツ文化公園内)

2 イベントの内容

(1) 開催1年前記念式典(12:50～)

ラグビーワールドカップ2019™開催都市特別サポーター(埼玉・熊谷)の任命式を行います。

人気アイドルのグループ「ハロー!プロジェクト」のメンバーのうち、埼玉県出身の10名が、ラグビーワールドカップ2019™日本大会の埼玉熊谷開催を応援するために立ち上がりました。

式典では、メンバーのうち中島早貴さんと浜浦彩乃さんに、上田清司知事と富岡清熊谷市長から任命証を贈ります。

釜石レジェンドを交えたラグビートークショーも開催します。

(2) 開催都市ラグビー対抗戦(14:10～)

「オール埼玉・熊谷」「オール岩手・釜石」等によるレジェンドマッチを開催。それぞれの都市にゆかりがあるOB選手が対抗戦に臨みます。

(3) 熊谷ラグビー場見学会(10:00～)

新しく生まれ変わった熊谷ラグビー場の見学会を実施。普段はなかなか見ることのできない選手のロッカールームや貴賓室なども見学できます。先着500名。

(4) ラグビーワールドカップ2019™日本大会PRブース

いよいよ1年後に迫った大会をPR。9月19日(水)に始まるチケットの一般抽選販売のID登録をしていただいた方には特典を用意。

(5) ラグビー体験コーナー

楕円球を使ったゴールキックやキックしながらタイムを競うドリブル競争

を体験できるアトラクションなど、子供や女性も参加できます。

熊谷スポーツ文化公園の同時開催イベント

- 1 熊谷市ラグビー祭り（10：00～15：00）
アルカス熊谷と立正大学女子ラグビー部によるラグビー教室、熊谷名物のかき氷「雪くま」、ご当地グルメ販売ブースなど。
- 2 熊谷圏オーガニックフェス2018（10：00～17：00）
「オーガニック（有機的なつながり）&サステナビリティ（持続可能性）」と「ホームグロウン（地元愛）」をテーマに掲げ、ステージ演奏やトーク、フードなどを楽しめる、熊谷で初めてののとっても“おしゃれな”野外音楽フェス。ご家族みんなで楽しめます。
当日はレジャーシートとマイ食器&カップをご持参ください。
- 3 ゆる玉フィフティーン任命式（13：20～）
県内のご当地キャラクター有志によるラグビー応援団「ゆる玉フィフティーン」。新たに21キャラの仲間が加わりパワーアップ。40キャラのメンバーが県内各地でラグビーのPRをゆる～く、かわいく展開します。

入場無料

第25回



併催/熊谷圏オーガニックフェス2018
ラグビー ワールドカップ開催1年前イベント
埼玉県全63市町村キーマン展示
第33回関東甲信越ラグビーフットボール不惑大会

熊谷市ラグビー祭り

熊谷スポーツ文化公園に、熊谷2大名物 雪くま×ラグビー 大集合!!

熊谷名物かき氷

雪くま人気店大集合!!



※写真はイメージです。
当日販売する雪くまと異なる場合があります。

イベント内容

熊谷名物かき氷“雪くま”ブース 人気店が大集合!

写真提供:雪くまのれん会

ふわっふわっ雪くまかき氷を食べ比べ!
何杯食べれるかな?



フード&マルシェ 手作り販売ブース

キッチンカー、B級グルメ、冷んやりスイーツ
まで勢揃い!フードブースも熱い!



ラグビーボール わくわく体験キッズパーク

初めてでも安全に、楽しく楕円球と触れ合える。



アルカス熊谷&立正大ラグールによる ふれあいラグビークリニック

※ラグビースクール生が対象のクリニックになります。写真提供:熊谷市



トライPHOTO

ラグビーボールをもって、カッコいいトライシーンを
撮影できる!来場記念に撮影しよう!!



ラグビーレジェンドマッチ

ラグビーワールドカップ開催都市「岩手・釜石OB」と「埼玉・熊谷OB」、「三洋電機OB」によるラグビー交流戦。往年の名選手が集う。



ラガーシャツ販売ブース

お洒落!かわいい、女性向け、キッズ向けも盛り沢山!



タグラグビー広場

親子・友達と一緒にタグラグビーを楽しめます。



ビアブース(ハイネケン)

暑い季節に、美味しいビール!ハイネケンで乾杯!!



昨年の様子

案内図



主催/一般社団法人熊谷市ラグビーフットボール協会 ラグフェス専門委員会

お問い合わせ/E-mail:kumagaya.rugfes@gmail.com TEL:048-538-4389

後援/埼玉県、熊谷市、(一社)熊谷市観光協会

協力/(一社)埼玉県ラグビーフットボール協会、雪くまのれん会、(一社)熊谷市歯科医師会

熊谷かき氷
雪くま

GREATER KUMAGAYA ORGANIC FES 2018

2018/09/23 SUN 10:00 - 17:00

AT KUMAGAYA SPORTS CULTURE PARK

WWW.GREATERKUMAGAYA.JP

(埼玉県熊谷市上川上300)

2018年9月23日(日) at 熊谷スポーツ文化公園

熊谷圏オーガニックフェス2018

熊谷初の 野外フェス!

入場無料 雨天決行

音楽!食!お酒!トーク!展示!ラグビー!
年齢問わず、家族で一日楽しめるイベントです。
是非!テント&レジャーシートをご持参ください。
全店リユース食器(有料)使用!
マイ食器&カップを持てこよう!

◎ボランティアスタッフ募集中

詳しくは

www.greaterkumagaya.jp 🔍

GREATER KUMAGAYA ORGANIC FES

2018/09/23 SUN 10:00

AT KUMAGAYA SPORTS CULTURE PARK

WWW.GREATERKUMAGAYA.JP

2018年9月23日(日) at 熊谷スポーツ文化公園

熊谷圏オーガニックフェス2018

GREATER KUMAGAYA
2018
- 17:00

ARTIST

MINMI
GAKU-MC
YAE
河口恭吾
日本フィルハーモニー
交響楽団
AND MORE...

併催 埼玉県全63市町村キーマン展示
熊谷市ラグビー祭り
ラグビーワールドカップ開催1年前イベント

FOOD & MARCHE

農福連携
暮らしマルシェ
コーヒーと日常
NEW HOLIDAY
OGAWA ORGANIC FES
空と僕の
オーガニックな関係
CHICHIBU CITY
PROJECT & VEGGY

[主催]
熊谷圏オーガニックフェス実行委員会(埼玉県/熊谷市/
(一社)埼玉県ラグビーフットボール協会/(一社)熊谷市ラ
グビーフットボール協会/(一社)埼玉県物産観光協会/(
一社)熊谷市観光協会/(公財)埼玉県公園緑地協会/
熊谷商工会議所/埼玉県信用金庫)

[協力]
環境省
D&DEPARTMENT SAITAMA by PUBLIC DINER
(有)PUBLIC DINER
(一社)the Organic
UCHIBE ATELIER
平井政俊建築設計事務所
(特非)アーステイマナー・アソシエーション
しゃいかい!
熊谷経済新聞
埼玉福興(株)
(特非)生活工房つばき・遊
(特非)ARUKAS KUMAGAYA
(特非)AEA英語通訳キッズプロジェクト
JNKテクニカルサポート
ツカノマ
(一社)農福連携自然栽培パーティ全国協議会
全国農福連携推進協議会

※ 出店者、出展者、出演者などの都合により内容が変更と
なる場合もあります。
※ 主催者が運営に支障をきたすと判断した場合、プログラ
ムや運営上のルールを変更する場合があります。
※ 雨天決行ですが、荒天や災害の場合は中止となります。
詳細はHPでご確認下さい。
※ 当日パンフレットは、本部にて配布しております。

\ FOLLOW ME ! /



会場までは公共交通機関をご利用ください。
JR熊谷駅【北口(正面口)/3番のりば】から、路線バスを増便致します。

MUSIC & TALK STAGE

音楽&トークステージ

AND MORE!



MINMI



GAKU-MC



YAE



河川恭吾



日本フィルハーモニー
交響楽団

FOOD & MARCHÉ

フード&マルシェ

県内の感性の高いフード&マルシェがビレッジ方式で多数参加。自分のライフスタイルにあったビレッジを見つけよう!お店の数は、総勢120店舗以上!全店リユース食器を使用!各ビレッジを結んだスタンプラリーや、リユース食器を返却後の抽選会もあります!今年は、スタートアップオーガニック!お店によってオーガニック基準の度が違うことは、毎年全体の基準を上げていく予定ですのでお許しください。詳細が知りたい方は、是非、そのお店のオーガニック度を聞いてみよう!

ORIGINAL GOODS

オリジナルグッズ販売



事前販売は
HPから

「スタートアップ オーガニック宣言 in 熊谷」

当日、このフェスの開催を記念し、参加者賛同のもと「スタートアップオーガニック宣言 in 熊谷」を宣言します。この宣言は、ラグビーワールドカップ2019、東京オリンピック/パラリンピック2020のあとも、ずっと続く生活に根差した思想として、その土地がその土地らしく、命を育むための宣言です。埼玉にて「オーガニックムーブメント」が広がるキッカケをつくります。また、この宣言は、スポーツの街・熊谷らしく、スポーツマンシップに則り、明るくて、元気で、楽しく、安全・安心、健康的な街をつくる事にもつながります。

リユース食器、マイ食器って、なあに?

環境持続型のフェスです!フード&マルシェの各店にて使用されている、お皿、コップなどは、有料(100円)のリユース食器を使用しております。使用後は回収ブースへの返却をお願い致します。返却すると抽選券がもらえます!リユース食器で、賞品をゲット!このフェスでは、マイ食器(コップ、お皿、箸、スプーン)を持参することを推奨しております。注文時にマイ食器を出して頂ければ、その食器に盛りつけます。また、自分で持ってきたゴミは、自分で持ち帰ろう!購入したものは、ごみゼロステーションもあり!ボランティアスタッフの協力で廃棄物の削減を目指すと同時に、資源をリサイクルに回しています。

グレートー クマガヤ Greater KUMAGAYA (熊谷圏) って、なあに?

近隣市町村がつながり支え合う、オーガニック&サステナブル都市圏構想、それが、Greater KUMAGAYA (熊谷圏)です。奈良時代に成立されたとされる、現在の埼玉県と東京都のほぼ全域を包括する武蔵国(むさしのくに)があり、その後1871年(明治4年)には熊谷県として、武蔵国北部・上野国のほぼ全域を管轄するための"県"が設置されました。これは現在の埼玉県の大半、群馬県のほぼ全域にあたります。これらの歴史からも、現在の市町村を超えてつながり、支え合うことが重要であると私たちは考えます。

なんで、オーガニックなの?このフェスのテーマを教えてください!

①オーガニック(有機的なつながり)&サステナビリティ(持続可能性)なフェスを目指す。

2012年ロンドン大会からのオリンピック・パラリンピックの基本理念であり、食材の調達基準にも掲げられているのが、「オーガニック&サステナビリティ」。オーガニックとは、食だけにどまらず、自然と人、人と人とが有機的につながる、暮らしや生き方そのもの。サステナビリティとは、人間・社会・地球環境の持続可能な未来への取組みのこと。2019年ラグビーワールドカップ、2020年オリンピック・パラリンピックを世界からアスリートをお迎えするスポーツの街・熊谷。さらに気候変動の影響を受け、温暖化対策の先進都市へと進化すべく「日本で一番暑いまち」熊谷だからこそ、オーガニック&サステナブルなフェスを目指すことができます。Think Global, Act Local!

②フェスを通して、HOMEGROWN=「地元愛」を育む。

ホームグロウンとは、本来「地元育ち」の意味ですが、このオーガニックフェスでは、ズバリ「地元愛を育む」ことをいいます。それは、その土地の自然や社会環境を守り、伝統文化を大切に、その地域ならではの個性、新たな可能性を育てること。そうした「地元愛」こそ世界が持続可能なための原動力になると考えるからです。地元を愛する人たち、地域を愛する人たち、そして世界を、地球を愛する人たちが集結するフェスにします。「地元のためは、世界のために!世界のためは、地元のために!」まさにOne for All, All for One!の精神です。

自分が生まれ育ち、学び、働く環境には、ご自身が、気づいている、気づいていないに関わらず「無償の愛」が必ず存在します。その土地のありたい姿が、その土地らしく、混然一体となってある状況が、まさに、オーガニック(有機的なつながり)であり、HOMEGROWN(地元愛)なのだと思います。ネットの世界に本当の情報はない。本物の音楽と食の力で、起こっている状況の体験こそが、情報超え、身体化させる。僕たちは、今や、グローバルを意識する必要なく、ローカルを極めさえすれば、自然に、世界ともつながっていく時代だと考えます。Startup! Organic!

運営本部長兼統括プロデューサー 加賀崎勝弘